

6月15日(土) 14時から 第18回「定期総会」

富ヶ丘公民館で

3月29日に行われた定例の幹事会で本年度の定期総会の内容について検討し、開催曜日と使用会場を変更することになりました。ご理解のうえ、多くの会員、友人の皆様の出席をよろしくお願いいたします。

当日は第1部で2012・3年度の事業報告と計画、決算と予算などを討議。第2部では“富谷市への展望と課題についての質疑”を予定しております。市制への現状や市日中友好協会スタートへ向けたご意見を頂ければと考えております。第3部では会費500円での懇親会も例年通り行います。終了は16時頃となります。

なお年会費の納入も行いますので、ご協力よろしくお願いいたします。後日、ご案内を郵送いたします。



九台市の上河瀉林場で地元メンバーと障子松を植林(写真上)、長春大学日本語学科学生との交流模様。2年生は「時の流れに身をまかせ」を合唱(下)

県協会主催の「地球環境を守る 吉林省九台生態保護林建設事業」が17日から4泊5日で行われました。16名の参加でしたが、楽しくまた印象深い交流となりました。(次月のNo.105で詳細報告いたします)

4月「植林訪申」で交流



唐紹儀の書「舒卷忘食」



日中交流ツアー(吉野作造記念館)に参加して

中国留学生と日本人との交流を図りつつ、吉野博士の日中の懸け橋を学ぶ企画(4月14日)があり参加しました。特別に未公開の資料も公開され、無発光での撮影も許されました。館内見学、グループに分かれて自己紹介や参加の感想など語り合いました。吉野博士の人間味あふれる生涯は時代の変化の中でも東北人気質、庶民性に貫かれていたことなど、身近にこのような偉人がいたことを知ることができました。約20名でしたが、初めて出会った方が大半(写真は泉日中の方と)でしたが、日中友好を願う皆さんと楽しく有意義な触れ合いの場となりました。(投稿・水戸憲子)

ひろば 「広場」

☆募集☆
毎月25日
が投稿の締め切りです。
内容は自由です。

話題& 情報

読書 「『いらっしやいませ』と言えない 国-中国で最も成功した外資・イトーヨーカ堂」(湯谷昇羊著 新潮文庫 577円)
とにかく面白く読める。流通ビジネスマンや小売業関係者に限らず、一読お勧めです。日中間の文化や国民性・個性の違いと格闘する日本人社員の姿と現地従業員等の変化、成長が具体例で語られる。2012年の反日暴動の時もどうだったのか。NHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」でも取り上げられた、サムライ達が輝いている。
鑑賞 「中国絵画名品展」(日中友好会館所蔵)
同館所蔵の斉白石などの中国画や油絵など厳選作品を展示。5月17日まで東京・飯田橋の日中友好会館美術館。土日・祝日は休館。無料。☎03-3815-5085

友好川柳

「廬山地震 鳥インフルに 国あげて」
(PM2.5に続いての困難。世界の友は手を差し伸べたい気持ちだが?)
「植林で 砂漠化防ぐ 薄毛隊」
(吉林省への植林。参加者は元氣一杯だが、多くは髪が薄くなった同志。失礼)
(柳川どじょう)